

日本工学院北海道専門学校紹介

未来の可能性を広げる環境が ここにある

文化・教育・福祉の充実を重点施策としてまちづくりを進める市の強い要請を受け、日本工学院北海道専門学校が開校したのは、昭和57年4月。

以来、札幌の大地から夢を持ち、その道のプロとして生きていくための、専門知識と技術を修めた多くの若者たちを社会へ送り出してきました。

今月号では、日本工学院北海道専門学校学科や進学、就職活動のサポート体制などを紹介します。



多彩な学科をそろえ、 多くのエキスパートを育成

さまざまな分野のエキスパートを数多く育成してきた日本工学院北海道専門学校。マルチメディア・コンピュータ・公務員系、エンジニアリング系、建設系、医療系と多彩な学科（12・13ページ『学科紹介』をご覧ください）をそろえ、これからの社会を担う若者たちが、未来のために興味あることを学んでいます。

さらに知識を増やしたい 学生のために

〈大学3年次編入制度〉

平成12年度に学校教育法の一部が改正され、専門学校から大学3年次に編入できる制度ができました。

日本工学院北海道専門学校からは、この制度を利用して東京工科大学

（姉妹校）や室蘭工業大学などに、これまで35人が編入しています。今年度も2人の学生が編入試験に合格。室蘭工業大学には、9年連続で合格者を輩出しています。

学生の就職活動を しつかり、サポート

日本工学院北海道専門学校は、学生の就職活動をサポートするため、1年次から2年次にかけてさまざまな就職対策を講じています。



▲合同企業説明会

1年次後期の就職ガイダンスでは、学校が独自に製作している『就職の手引き』を配布。この冊子をもとに企業訪問の仕方や履歴書の書き方、面接の受け方など就職活動に必要な基礎知識を身に付けます。その後、入社試験や面接に慣れるため、就職模擬試験や模擬面接を行います。

さらに、企業の方を招いた就職セミナーや学内、札幌で開催される合

同企業説明会への参加などを通して、学生の就職に対する意識を高め、内定を獲得するまでしつかりとサポートしています。

IT系国家資格の 午前試験が免除

平成18年3月、登別市がIT特区に認定されたことにより、日本工学院北海道専門学校の講座を履修し修了試験に合格すると、国家資格の『基本情報技術者』と『初級システムアドミニストレータ』の午前試験が免除されることになりました。これにより基本情報技術者（全道平均合格率25・2%）と初級システムアドミニストレータ（全道平均合格率30・2%）の合格率がともに50%を超え、全道平均を大幅に上回りました。

